

## 【(2) 教室環境】

⑥「当日の予定を小黑板等で掲示している」

## 【(4) 授業の導入・展開（導入）】

①-4「活動の流れを示している」

## 【(8) 教材・教具】

②「タイマーを活用している」

### 《つまずきの背景》

C 記憶力の弱さ、N 注意の持続の困難さ、O 見通しを持つことの困難さ、Q 状況理解の困難さ

### 《解説》

一日の流れや1時間の授業の流れを小黑板で示したり、グループでの話し合い活動の時間をタイマーなどで示したりすることで、活動や時間の見通しを持たせることができます。

学級の中には、何をいつまでするのか分からないと不安になり、落ち着いて学習に取り組めなかったり、急な変更が受け入れられなかったりする子どもがいる場合があります。そういった子どもは、活動や時間の見通しが持てることで、安心して学習に取り組めます。また、気が散りやすく、活動の切り替えが難しい子どもに対しても、具体的な活動内容や時間を示すことで、時間を意識し、集中して学習に取り組めます。

一日の流れや1時間の授業の流れを小黑板やホワイトボードに書いたり、カードを貼ったりするなど視覚的に示します。活動が終わったら消したり、カードを外したりすると、活動の終わりと始まりが明確になります。変更があったときは、早めに知らせることで、受け入れやすくなります。視覚的に分かるように示すとより効果的です。

### 【工夫点】

- ・一日の流れを記入し、終わったら消していく。(小中 工夫例 14)
- ・本時の活動内容を明記する。(小中高 工夫例 15)
- ・タイマー等を活用して経過時間や残り時間が分かるようにする。(小中高 工夫例 16)

### ◆工夫例 14「一日の流れを記入し、終わったら消していく」



#### 《小学校》

小黑板に一日の流れを掲示し、終わったらカードを外すことで一日の活動の流れが分かるようにします。見て確認できるので、安心して活動に取り組めます。

### ◆工夫例 15「本時の活動内容を明記する」

#### 《数学(中学校)》

1時間の授業の学習内容を小黑板やホワイトボードに書くようにします。また、今していることに目印の磁石を置き、終わったら動かすようにします。1時間の学習の見通しが持て、今すべき活動が分かるので、集中して取り組めます。

- ①前時の復習
  - ②教 P69 例 3 (全員)
  - ③教 P69 問 5 (個人)
  - ④教 P69 例 4 (全員)
  - ⑤教 P69 問 6
  - ⑥(できた人)
- .....
- 教 P70 練習問題